



令和4年 9月30日
足立区立中島根小学校
校長 細川 靖雄
令和4年度10月号

見通しをもった行動へ

校長 細川 靖雄

9月、5年生の鋸南自然教室と6年生の日光自然教室がありました。宿泊を伴う行事には、次のようなねらいをもって臨みます。

- ・校外の豊かな自然や文化に触れる。
- ・体験を通して、事前学習を充実させたり発展させたりする。
- ・集団活動を通して、人間的な触れ合いを深める。
- ・基本的な生活習慣や公衆道徳などについての体験を積む。
- ・集団生活の在り方について考え、よりよい人間関係をつくる。

これらのねらいを達成するために、発達段階を考慮しながら教育活動を計画および実施をいたします。初めての宿泊行事である5年生と、一度経験している6年生とでは、そのめあての質が異なってきます。6年生には、より一層の深まりが求められます。

この宿泊を伴う集団生活をする上では、時間感覚を身に付けることをとても大切にしています。そのため、指導する際は、時間を守るための行動を注視していることを繰り返し伝えていきます。

集合時間に一人が遅れてしまうことで、次への行動に影響を与えてしまい、その一人を除いた全員の予定がストップすること。そして、係のグループ、生活班のグループ、バスのグループ、学級のグループ、そして学年のグループへと、その集団が大きければ大きいほど、それに対する影響が大きくなること、等々。

5年生は初日、5分前から行動を開始する、「5分前から行動」をしていました。予想どおり、遅刻です。検温後の記録の提出も遅刻。食事係の身支度後の集合も遅刻。夕食前の集合も遅刻、等々。そこで、私たちは、「5分前行動」というのは、5分前には終えていることであることだと伝えました。すると、翌日からは、ほとんど遅刻にならなくなりました。一日で大変身でした。子どもたちの成長振りには驚嘆しました。

6年生の「5分前行動」は、流石にできていました。昨年度の経験が生きているなど感じさせます。しかし、静かに待つという行動は不十分でした。私たちが全体の前に立っている際にも、静まる気配がありません。相手意識が希薄であると思えませんでした。そこで、私たちは、「静かに待つ5分前行動」にすることを伝えました。すぐにできる子がいます。その都度、そのことを周知していくと、どんどんできる子が増えました。そのような中、5分前行動で4階から降りてきた女子数人が、男子が静かに待っている姿に、会話がピタッと止まる場面も目にしました。また、全体が静かに待っているの、3階ホールまで部屋での会話が聞こえてしまうほどでした。学校の出発前の姿からの成長に感慨深いものがありました。

5年生も6年生も、この宿泊を伴う集団生活で大きな成長を見せていました。その成長した行動を学校生活に生かし、持続させてほしいです。そして、4年生をはじめとした下の学年の人たちに、日頃の生活や学校行事等でよい影響を与えていけることで、その姿は本物になっていきます。

10月の行事予定

10月の生活目標：進んで学習に取り組みます。

日	月	火	水	木	金	土
		※SCはスクールカウンセラー、SSWはスクールソーシャルワーカーの来校日です。				1 都民の日 足立区民の日
2	3 短縮	4 SC 短縮	5 安全指導 ※4時間授業 ・給食あり	6 SC 短縮	7 前期終業式	8
9	10 スポーツの日	11 後期始業式 側弯症検診(5年) 自転車教室(3年)	12 ※4時間授業・ 給食あり	13 SC SSW 短縮 セーフティ教室	14 運動発表会 (児童のみ)	15 運動発表会 (保護者鑑賞日) ※5時間・給食あり
16	17 振替休日	18 SC 運動発表会 予備日	19 ロングクラブ 避難訓練	20 SC 歯科指導(4年) 学校公開始	21 学校説明会	22 土曜授業 委員会(4校時)
23	24 短縮	25 SC 学校公開終	26 視力検査(5・6年) 陸上記録会(6年) ※1~5年4時間授 業・給食あり	27 SC SSW 遠足(1・2年) 歯科検診(2・5年)	28 短縮 視力検査(3・4年)	29
30	31 視力検査(1・2年)	※予定に追加や変更が生じる場合がありますのでご了承ください。				

委員会活動

委員会担当

中島根小学校では、9つの委員会が活動しています。6年生が中心となり、5年生と力を合わせながら、みんなの学校生活をよりよくしていくためにはどうしたらいいのかを考えて活動しています。コロナ禍になり、できることが制限される中、**chromebook**を活用してポスター作りをする委員会や、知らせたいことを動画で撮影し、説明する委員会など様々です。

私が担当する体育委員会では、プールの入り方などを動画で撮影し、各クラスで活用してもらうために5年生と6年生で知らせたいことを分担し、自分たちで台本や動きを決め、動画を撮影しました。

子どもたち同士で意見を出し合いながらわかりやすく伝えるにはどうすればいいのかを考え活動していました。

今後も子供の考えを生かして、アイデアを出し合いながら活動ができるように、指導、支援していきます。

5年鋸南自然教室

第5学年担任

9月5日（月）～7日（水）に5年生は鋸南自然教室を実施しました。初めての友達と過ごす2泊3日に対して夏休み前から期待でいっぱいだった子どもたち。係の仕事などの事前準備にも熱心に取り組み、夏休み明けすぐではありましたが、自信に満ちた笑顔で見送りの方々に大きく手を振って、学校を出発しました。

1日目はまず、「マザー牧場」を見学しました。広い園内を友達と見学計画を考えながら回る経験も貴重なものだったと思います。宿舎に到着してからは入浴、夕食を済ませ、夜にはキャンプファイヤーを行いました。三密を回避しながら、楽しめるものをレクリエーション係が中心となって準備しました。消灯の時間には、多くの子どもたちはぐっすり眠りにつき始めていました。

2日目は、磯体験を行いました。生き物を見たり、きれいな貝がらや波に洗われてなめらかになったガラスなど、砂浜で拾える宝物をたくさん見つけたりすることができました。その後は、鋸南の名前の由来でもある「鋸山（のこぎりやま）」に行きました。この山をハイキングする予定でしたが、気温が高くなりすぎてしまったため、行程を変えて山頂付近での活動だけを行いました。この日の夜は、ナイトハイクを楽しみました。宿舎の方のご厚意で、街灯も消してもらった真っ暗闇を感じながら、星空を思い思いに見上げました。

3日目はいよいよ帰る日。近くの保田漁港を見学しました。漁港の様子を見るだけの予定でしたが、漁業組合の方が「足立区の子のためなら」と伊勢エビ、太刀魚、サザエなどをコンテナから出してくださいました。また、せりの会場や水揚げをする漁港などに招き入れていただき、学習を深めることができました。最後の学習は、感染症の影響で長らく受け入れが行われていなかった工場見学。「味の素川崎工場」に行くことができました。身近な商品をたくさん見つけるとともに、食品工場で働く人や機械などをじっくり見ることができました。

子どもたちにとっては、あっという間の2泊3日でしたが、貴重な経験になりました。充実した見学や体験学習、友達との交流、自律した生活、その一つ一つが大切な経験、大切な学習となったと思います。これをもとに自信を深め、中島根小学校での生活をよりよいものにしていけるよう、指導・支援にあたっていきたいと思います。5年生のさらなる活躍が楽しみです。



6年日光自然教室

第6学年担任

6年生は、9月14日（水）～16日（金）で日光自然教室を実施しました。今年度は、久々に2泊3日での実施ができました。日光にまつわる学習や各係の仕事の準備を進める中で、期待と自信を高めてきました。

1日目、最初の目的地は大谷資料館でした。9月でも気温が15℃を下回る巨大な地下空間は、大谷石を切り出した採掘場の跡地です。ところどころに残る、手掘りや機械掘りの跡を間近に見ながら、採掘にあたった人々の根気と労力に思いを馳せました。その後は、東武ワールドスクウェアに行きました。班行動で世界遺産のミニチュアを見学しました。いつかは実物を見に行きたい、という感想をもった子もいました。夜の時間は、ふくべ細工を行いました。栃木県の特産品であるかんぴょうの原料、ユウガオの実を乾燥させたものを材料にお面作りをしました。完成したお面は、10月の参観週間で掲示する予定です。



2日目は、バスで奥日光へ向かいました。日光市内は雨が降っていましたが、奥日光は晴れていて湯元源泉からハイキングをスタートしました。湯ノ湖、湯滝を見ながら、ゴールの赤沼を目指して歩きました。ゴールで食べたソフトクリームは、まさに疲れを癒す味だったようです。元気を取り戻した後は華厳の滝に行きましたが、残念ながら濃霧のため見ることができず、その音から様子を想像していたようでした。夜は、待ちに待ったレクリエーション。クイズやゲームを楽しむことができました。

3日目には、世界遺産である日光東照宮を見学しました。輪王寺の三仏堂で丁寧な説明を受け、見学した後は、陽明門、三猿、鳴き龍、眠り猫といった見所をガイドさんの解説を聞きながら、回って行くことができました。昼食後は、お家の人へのお土産を何にしようか悩みに悩み、最後には納得のいく買い物ができるようでした。

日光自然教室では、集団生活、団体行動を学び、普段できない経験ができました。この経験を生かしながら、中島根小学校での生活をさらによいものにしていきます。

